

## 映像事業

## KAVC CINEMA 「バンクシーを盗んだ男」

パレスチナの〈分離壁〉に描かれたアートが人々を翻弄するー  
 “覆面アーティスト” バンクシーの作品がもたらす光と闇に迫るドキュメンタリー

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、KAVC CINEMA にて「バンクシーを盗んだ男」を上映する運びとなりました。

今なお正体を知る者はおらず、反権力的なメッセージをストリートで表現するアーティスト、バンクシーは、イギリス・ロンドンを拠点とし、世界のいたるところにユーモアとアイロニーをこめた作品を描き、活動しています。彼の作品はオークションで数千万～1億円という高値で取引されることもあります。大英博物館やルーブル美術館で勝手に作品を掲出したことや、ディズニーランドを皮肉ったテーマパーク「ディズマランド」を設営。2017年にはパレスチナのベツレヘム地区にある分離壁の目の前に“世界一眺めの悪いホテル”「The Walled Off Hotel」を開業。その場所の情勢や政治など環境そのものを作品に取り入れて表現するアーティストになります。

2007年、バンクシーはパレスチナとイスラエルを分断する高さ8m、全長450kmにも及ぶ超巨大な壁にグラフィティアートを描くプロジェクトを強行しました。キリストの生まれた聖なる街ベツレヘムでクリスマスの観光活性に一躍買わべくバンクシーによって集められた14人のアーティストたちによって、巨大な壁は一瞬にして彼らのキャンバスとなり、バンクシーは代表作である「フラワーボンバー」をはじめ6つの壁画を残しました。このニュースは世界的にも注目され、ベツレヘムには壁画を目当てに観光客が押し寄せました。しかし、プロジェクトの成功の裏では怒りを露わにする地元民が現れます。その原因はバンクシーが描いた「口バと兵士」の壁画でした。パレスチナ人を口バとして描き貶められたと捉えた人々は壁画を切り取り、売り飛ばすことを決め、大手インターネットオークションサイト「eBay」に出品された「口バと兵士」は世界を巡り、思わぬ波紋を呼ぶこととなります。

ロンドンでも、ニューヨークでもないパレスチナに描かれたバンクシーの絵は誰も予想しなかった問題を露呈し、観客に投げかけます。芸術の価値とは？ストリートアートは消されるべきか、保存すべきか？壁から切り取られた絵の著作権は誰のものなのか？そしてバンクシーの行為が善なのか悪なのか？『イグジット・スルー・ザ・ギフトショップ』、『バンクシー・ダズ・ニューヨーク』では描かれなかった“バンクシーがもたらす負の側面”を本作では炙り出します。

つきましては、本作品をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、情報掲載のご協力を頂けますようお願い申し上げます。

敬具

「バンクシーを盗んだ男」

(2017年/イギリス・イタリア/93分)

配給：シンカ

監督：マルコ・プロゼルピオ

ナレーション：イギー・ポップ

上映期間：10.6(土) - 10.19(金)※火休

料金：一般1700円、学生1400円、シニア1100円

※かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり



© MARCO PROSERPIO 2017

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 大泉）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356